

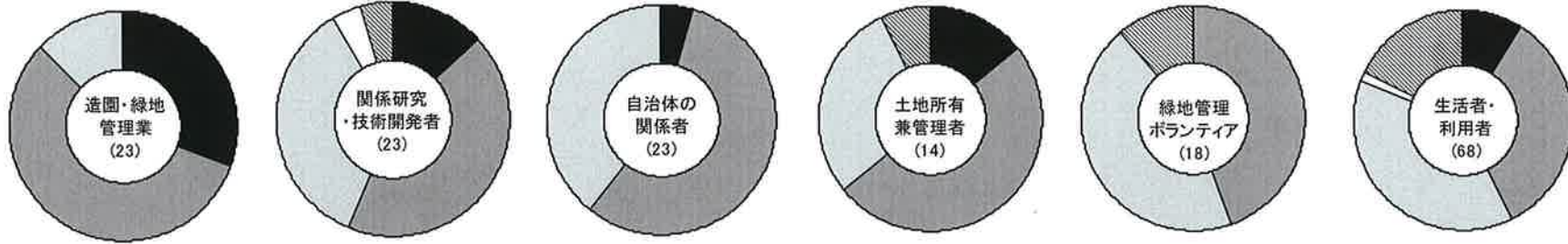
都市・市街地の雑草にたいする意識調査アンケート結果 (2008年1月～9月)

ご協力ありがとうございました。—都市雑草研究部会—

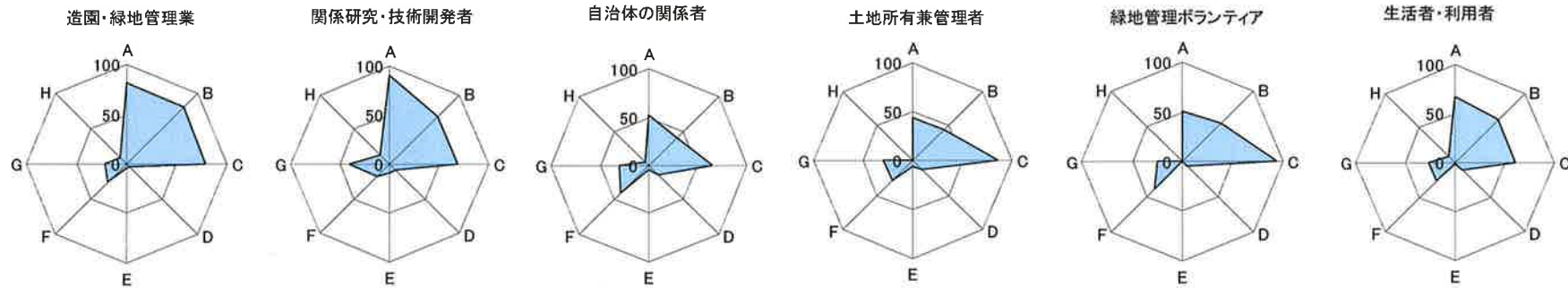
問 生活や仕事において雑草をどの程度問題と感じていますか (回答者数:169)

(括弧内数値は、立場別回答数)

■ 非常に Ⅲ かなり □ 少し・時々 □ 全くなし Ⅳ むしろ楽しむ

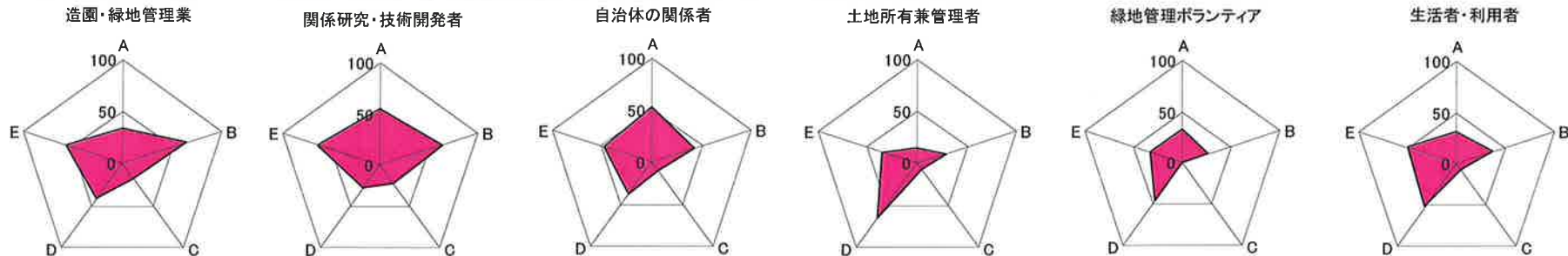


問 雑草はどのような点で問題ですか (複数回答:回答者数に対する%で示す) (回答者数:153)



A: 景観・美観を損ねる B: 育てたい植物を阻害する C: 除草に労力がかかる D: 花粉症・アトピーの原因になる E: 怪我の原因になる F: 害虫の発生源になる G: ゴミ捨て場になる H: 火災発生の恐れがある
 その他の意見: 外来雑草蔓延の温床・生態系への悪影響(5)、見通し不良による交通安全・治安上の問題(4)、刈りかすの焼却問題(2)、人間関係のストレス(3)

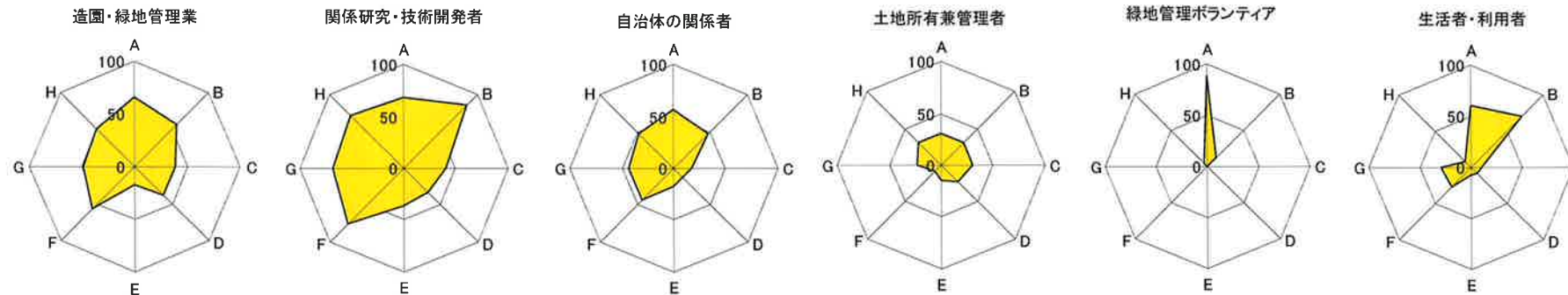
問 このような状態の原因は何だと思いますか (複数回答:回答者数に対する%で示す) (回答者数:153)



A: 雑草に対する関心が薄い B: 防除に必要なコストをかけない C: 防除方法が間違っている D: 雑草防除はそもそも難しい E: 雑草や防除に関する基礎知識が不足している

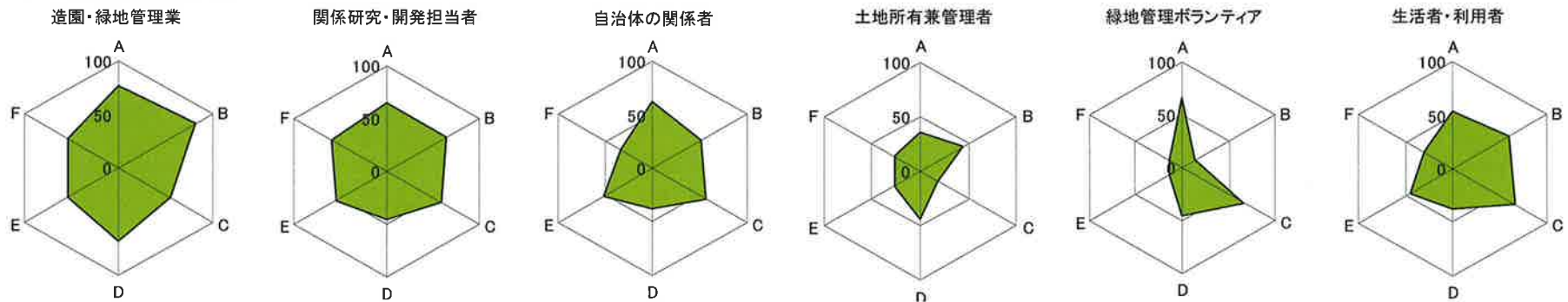
問 どのような場面で問題ですか

<土地利用形態の区分> (複数回答:回答者数に対する%で示す) (回答者数:151)



A:公園 B:集合住宅・住宅地 C:工場用地 D:商業施設 E:駐車場 F:道路・鉄道敷 G:河川敷・のり面 H:遊休地・放棄田 . その他:耕作地・市民農園・公開緑地(3)

<植生の種類の区分> (複数回答:回答者数に対する%で示す) (回答者数:140)



A:低木植込み B:芝生 C:花壇 D:樹木下 E:アスファルト・コンクリートの隙間 F:植栽なし

問 雑草の最近の変化(過去10年以上内)についてお気づきのことは (複数回答、回答者数:159)

(a) 変化に気づいている回答者数(%)

造園・緑化業	81.8
関係研究・技術開発者	86.4
自治体の関係者	57.1
土地所有兼管理者	78.6
緑地管理ボランティア	47.1
生活者・利用者	69.4

(b) 気づいた変化の種類 ((a)に対する%)

昔と違った種の増加・種類の変化*	54.1
大型雑草の増加	33.1
同じ種の見られる時期の変化	24.8
その他	6.3

* 木本種の増加、外来雑草の増加、園芸種のエスケープ、昔普通に見られた種類が見られなくなった